

## 現代中国語の「時相」と「時態」 の意味研究

加藤 宏 紀

### 0. はじめに

本稿は、現代中国語の時間体系が「時相 (phases)」「時態 (aspects)」「時制 (tenses)」の三つの時間範疇から形成されているという仮定のもと、この中の「時相」と「時態」のふたつの時間範疇が時間体系の中でどのような役割を果たしているかを詳しく論じる。

「時相」と「時態」という時間概念を想定する根拠を簡単に述べる。次の例を見られたい。

#### (1) 看了三天

上の (1) にはふたつの解釈がある。ひとつは「三日間読んだ」であり、もうひとつは「読み終わって三日になる」である。つまり、前者の解釈では“三天 (三日間)”は動詞“看”が表す「読む」という「行為の持続時間」を表すのに対し、後者の解釈では“三天”は“看”の「行為が終わった後の経過時間」を述べている。この違いは (1) がそれぞれ次のような文脈に置かれたときに明瞭になる。

#### (2) a. 这本小说我看了三天。

(この小説は私は読みはじめて三日になった。)

b. 这本小说我看了三天，我就记不得了。

(この小説は読み終えてまだ三日だが、私はもう覚えていない。)

“看了三天”という表現の解釈の違いは、形式上、動詞“看”の直後に付加した“了”の意味に起因する。(2a)の“看了三天”の“了”は「…してしまった」という「完了」を表し、(2b)の“看了三天”の“了”は「…し終わる」という「動作行為の終了」を表している。ここで注目すべきは、こうした“了”の意味の違いを意味構成の過程において、次の(3a)と(3b)のように、明示的に表すことができるということである。次の(3a)(3b)は上の(2a)(2b)の“看了三天”の意味構成をそれぞれ示したものである。(3a)は、意味上、“看”がまず“三天”と結びついた後、そのまとまり(“看+三天”)に「…してしまった」という「完了(あるいは実現)」の意味を表す“了”が結合して構成されている、ということを示している。これに対し、(3b)は、“看”が「…し終わる」という「動作行為の終了」を表す“了”と直接意味を構成し、それに“三天”が結びついている、ということを示している。すなわち、(3b)の“看了”は“看完(読み終わる)”という意味であり、それゆえ“三天”は「行為が終わった後の経過時間」を表すのである。

(3) a. { 看 + 三天 } + 了  
ヨム 三日間 完了・実現

b. { 看 + 了 } + 三天  
ヨム オワル 三日間

(3a)(3b)で示したような意味構成の違いは、「時相」と「時態」という概念を導入することで、より体系的に説明することができる。すなわち、(3a)において、“看+三天”によって構成された意味のまとまり({})で囲われた部分)が「時相」であり、それと結びついている“了”は「時態」の時間範疇

に属するものである。一方、(3b)においては“看+了”によって「時相」が形成されている。この“了”は「時相」の時間範疇に属するものである。

上で示したような、「時相」に現れる“了”と「時態」に現れる“了”の区別は、“过”と“着”においても見てとれる。そこで本稿では「時相」に現れる“了”“过”“着”と「時態」に現れる“了”“过”“着”の区別が必要な場合、前者を“了<sub>p</sub>”“过<sub>p</sub>”“着<sub>p</sub>”，後者を“了<sub>a</sub>”“过<sub>a</sub>”“着<sub>a</sub>”と表記する。

## 1. 「時相」

上の簡単な例で「時相」という概念を導入したが、「時相」が何を表し、またそれが形成されるのにどのような制約があるかはまだ述べていない。そこで本章では「時相」について定義を与え、詳しく論じる。

### 1.1 「時相」とは何か

上の例(2a)において、「時相」は動詞“看”と時間量補語“三天”によって構成されている。“看”が表す「読む」という行為は理論上、永遠に持続する性質を持っている。時間量補語“三天”はその行為の持続時間を述べているので、意味上これと直接結びつく“看”が表す行為は「自然の終結点」を持ち、行為は「ひとまとまり」になる（あるいは「限定化」される）。こうした「ひとまとまり」の（あるいは「限定化された」）動作行為を「出来事(events)」と呼ぶ。同様に、(2b)の「時相」に現れる“了<sub>p</sub>”は動詞“看”が表す行為の「終わり」を明示して、“看+了<sub>p</sub>”で「ひとまとまり」になった全体が「読み終わる」という「出来事」を表している。

ただし、すべての文が「出来事」を表すわけではない。なかには「出来事」を表さない文が存在する。たとえば、上の例では動詞“看”の行為は時間量補語“三天”によって限定されているが、文中にこのような行為を限定する成分がなければ、その文は「出来事」を表し得ない。実際にはこのような場合も「時相」は構成される。よって、「時相」の時間範疇の中には「出来事」を表すものと「出来事」を表さないものの二種類が存在することになる。そ

ここで本稿は前者を「充足した時相」、後者を「未充足の時相」と呼び、両者を区別する。(2a) (2a) の例で明らかのように、「時相」の充足／未充足の区別は動詞の意味だけで決まるわけではなく、文中のそのほかの語彙成分の意味が深くかかわっている。よって「時相」という時間範疇は「動詞およびそれと意味上、直接かかわる語彙成分の意味の制約によって構成される」時間概念と定義することができる(糞千炎 1995: 4)。

## 1. 2 「時相」を構成する成分

本節では「時相」がどのような統語形式によって形成されているかを詳しく論じる。次の(4)は動詞結果補語構造(VR構造)が「充足した時相」を構成している。動詞“解(ほどく)”は単独では理論上、永遠に持続する行為を表す。結果補語“开(ほどける)”は“解”が表す行為の結果を述べている。すなわち、動詞“解”は意味上じかに結果補語“开”と結びついている。“开”によって“解”の結果が示されているので、“解”が表す行為はそれ以上持続しない。つまり“开”は“解”の「自然の終結点」となって、「時相」を充足させている。

(4) 我解开了绳子。(私はひもを解きほどいた。)

(5)の動詞“看”は「読む」という行為を表し、その行為は理論上、際限なく持続する。“三遍(三回)”は「動作量」を表す補語である。動作量補語は動詞が表す動作行為の「量」を限定するので、“三遍”は動詞“看”と意味の上で直接、結びついていると言える。動作量が限定された動作行為はその「自然の終結点」を持つ。よって、(5)の文の「時相」は“看+三遍”によって充足し、「出来事」を表している。

(5) 这本书我看了三遍了，不再看了。

(この本は私は三回読んだので、もう読まない。)

次の(6)は(2a)同様、時間量補語“好几天(何日も)”の意味の制約によって「充足した時相」となっている。動詞“琢磨(考える)”は持続する心理活動を表す。“好几天”が表す時間量はその心理活動の持続時間を表すので、“琢磨”と“好几天”は意味上、直接結びついている。“好几天”の「量」は「長時間」という点で限定されている。よって、“琢磨”が表す心理活動は「自然の終結点」を持つ「ひとまとまり」の「出来事」となる。

(6) 那几道数学题他琢磨了好几天了, 还没有做出来。

(あの何問かの数学の問題は彼は何日も考えたが、まだ解けていない。)

次の(7)は動詞の重ね型によって「時相」が充足している。動詞“擦(拭く)”は理論上、永遠に続く動作行為である。動詞の重ね型は「少量の動作量」(あるいは「少量の時間量」)を表す文法形式である。つまり、(7)において、“擦”が表す動作行為の「動作量」は限定されていることになる。よって、意味上“擦+擦”によって構成される「時相」は「自然の終結点」を持った「出来事」を表す。

(7) 他用毛巾擦了擦嘴。(彼は手ぬぐいで口をちょっとぬぐった。)

次の(8)の動詞“吃(食べる)”は持続動詞で、理論上、永遠に続く行為を表す。(8)において、その行為の対象“饺子(餃子)”の「数量」が“二十个(二十個)”に限定されている。よって、この「食べる」という行為は「餃子」の数量分だけ持続する。つまり“二十个饺子”が“吃”の「自然の終結点」となり、「時相」を充足させている。

(8) 他们吃了二十个饺子。(彼らは餃子を二十個食べた。)

次の(9)は動作行為対象が固有名称を持つ場合である。“《霸王别姬》(『霸王

王別姫))”という固有名称の指示対象は「唯一」に特定できる。よって，“看”が表す行為の対象となる映画は「唯一」であり，それはすなわち行為対象の「数量」が確定しているということである。かくして，“看”という行為の「自然の終結点」が明示され，“看 + 电影《霸王别姬》”で「充足した時相」を構成している。

(9) 大家都看了电影《霸王别姬》。

(みんなは映画『霸王別姫』を鑑賞した。)

上の(4)-(9)は動詞とそれを意味の上で制約する語彙成分によって「充足した時相」を構成しているが，なかには動詞単独で「時相」が充足する場合がある。次の(10)“改良(改良する)”は動詞内部に「自然の終結点」を有する行為である。“改良”ですでに「時相」が充足しているので，時間量を表す“一年多(一年あまり)”(傍点部分)は「動作行為が終わった後の経過時間」を表している。

(10) 水稻种子改良了一年多了。

(稲の種は改良して一年あまりになった。)

次の(11)と(12)の動詞は【瞬間性】という意味特徴を共通に持っている。(11)の“死(死ぬ)”は生命体に発生する「瞬間的」変化であり，(12)の“离开(離れる)”は「瞬間的」に実現する行為である。これら単独で「充足した時相」を構成する動詞の後にある時間量表現(“两个月(二ヶ月)”と“好几天”)もやはり「動作行為が終わった後の経過時間」を表す。

(11) 大爷的那头老黄牛死了两个月了。

(じいさんのあのあか牛は死んで二ヶ月になった。)

(12) 他离开了家好几天了。(彼は家を離れて何日にもなった。)

次に「未充足の時相」を簡単に説明する。「未充足の時相」を構成するのはものの性質や状態、無制限に持続する動作行為を述べる場合である。たとえば、(13)の“显得(年轻)((若く(見える))”は個体“她(彼女)”の「外見上の性質(属性)」,すなわち「若く見える個体が共通して持つ属性(property)」を述べている。(14)の“知道(知っている)”は個体“我们(われわれ)”の「心理状態属性」,すなわち「知っているという心理状態にある個体が共有する属性」を述べている。(15)の“洗(衣服)(洗濯する)”は理論上、無限に続く行為を表し、(15)の文中にはその行為を限定する成分がない。このような場合、“洗(衣服)”は「出来事」を表さず、個体“我(私)”の「動作行為属性」,すなわち「洗濯する個体すべてに備わる属性」を述べている。

(13) 她显得年轻。(彼女は若く見える。)

(14) 我们都知道他的名字。  
(われわれはみんな彼の名前を知っている。)

(15) 我洗衣服。(私は洗濯する。)

以上、「出来事」を表す「充足した時相」および「出来事」を表さない「未充足の時相」を説明した。

## 2. 「時態」

「時態」とは「出来事(events)のある段階における状態を表す」成分である(龔千炎1995:44)。これは「時態」が動作行為と直接かかわるのではなく、「充足した時相」とかかわることを意味している。本章ではまず「時態」が「充

足した時相」と直接かかわることを論じる。そのあと、「時態」が現代中国語の時間体系においてどのような役割を果たしているかを述べる。

## 2.1 「時態」と「時相」のかかわり

冒頭で述べたように、本稿では“了a”“过a”“着a”を「時態」成分として取り上げる<sup>注1)</sup>。“了a”“过a”“着a”の意味はそれぞれ次に示すとおりである。“了a”は「…してしまった」という意味の「完了」を表し，“过a”は「…したことがある」という「過去の経験」あるいは「…した」という「過去の出来事の発生」を表し，“着a”は「…している」という「動作行為の結果の持続」を表す。

- (16) “了a”：「完了」(…してしまった)  
 “过a”：「過去の経験」(…したことがある)  
       ：「過去の出来事の発生」(…した)  
 “着a”：「動作行為の結果の持続」(…している)

### 2.1.1 “了a”

次の(17a)はVR構造(動詞結果補語構造)“刮倒(吹き倒す)”に「時態」の“了a”が付加している。結果補語“倒(倒れる)”は動詞“刮(吹く)”が表す自然現象の「結果」を表すので、「自然の終結点」は明示され，“刮倒”で「時相」は充足している。(17a)から結果補語を取り去った(17b)が不成立なのは「時相」が充足していないからであると言える。以上のことは「時態」(“了a”)は意味上、動詞が表す動作行為と直接結びつくのではなく、「充足した時相」と直接結びつくことを示している。文頭の星印(\*)は文が不成立であることを示す。

- (17) a. 台风刮倒了a大树。(台風は大木を吹き倒した。)  
 b. \*台风刮了a大树。



次の(18a)は動詞“看”とその目的語“电影《霸王别姬》”によって「時相」が充足している。よって“看”の直後の“了”は形式上、直接結びついているが、意味上は動詞と直接結びついてはいない。それは(18a)から映画のタイトルを表す固有名称“《霸王别姬》”を取り去ると、(18b)のように、文のすわりが悪くなるからである。つまり、(18a)(18b)の例は「時態」(“了a”)は意味上「充足した時相(看+电影《霸王别姬》)」全体と直接結びついているということを示している。文頭の?は文のすわりが悪いことを示す。

(18) a. 他们都看了a电影《霸王别姬》。

(彼らはみんな映画『霸王别姬』を鑑賞した。)

b. ?他们都看了a电影。

### 2.1.2 “过a”

次の(19a)はVR構造“解开(ときほどく)”の直後に「…した」という「過去の出来事の発生」を表す“过a”が付加している。結果補語“开”は動詞“解”の「自然の終結点」となり、「時相」を充足させている。(19b)のように、結果補語“开”を取り去って、「時相」が未充足になると、文のすわりは悪くなる。以上のことから、「時態」(“过a”)は意味上充足した時相と直接かかわっていることがわかる。

(19) a. 我解开过a绳子。(私はひもをときほどいた。)

b. ?我解过a绳子。

次の(20a)の“过a”は「…したことがある」という意味を表す「時態」である。この“过a”は統語上、動詞“走(行く)”の直後に付加しているが、意味上はそれと直接結びついているわけではない。なぜなら、(20a)から動詞“走”の行き先の数量を表す“不少(たくさんの)”を取り去ると、文は成立しないからである。つまり、“走+不少地方”で「充足した時相」が構成され、

“过 a” は意味上それ全体と直接結びついているのである。

(20) a. 我走过 a 不少地方

(私はいろいろな場所に行ったことがある。)

b. \*我走过 a 地方。

### 2.1.3 “着 a”

次の (21a) の “着” は「動作行為の結果の持続」を表す「時態」である。なぜなら、“穿两件毛衣 (二着のセーターを着る)” という行為自体を続けることは不可能だからである。(21a) の “着” が「時態」であるということは、「時相」が充足しているということを含意する。つまり、“两件 (二着)” という数量補語によって “穿 (着る)” という行為対象 “毛衣 (セーター)” の量が限定され、“穿” の表す行為が「ひとまとまり」のものとして捉えられている。以上のことから、「時態」 (“着 a”) は意味上「充足した時相」 (“穿 + 两件毛衣”) と直接結びついていると言える。ただし、“穿” という行為は「付着」という意味を含意し、そこからは行為の結果を強く読みとることができる。ゆえに、(21b) にあるように、数量補語 “两件” を取り去っても文は成立すると考えられる。

(21) a. 他穿着 a 两件毛衣还觉得冷。

(彼は二着のセーターを着てもまだ寒いと感じた。)

b. 他穿着 a 衣服还觉得冷。

(彼は服を着てもまだ寒いと感じた。)

次の (22a) の “着” は一見したところ「動作行為そのものの持続」を表す「時相」に現れる “着 p” と解釈できる。しかし、それは「時態」の “着 a” である。これには、“眼光闪烁不定，充满仇恨 (まなざしはざらざらとして，憎悪に満ちている)” という部分の意味が深く関わっている。それは “看” の主語 “他 (彼)” の「まなざし」を記述している。この「まなざし」の記述によ

り、単独では理論上、際限なく続く行為が「まなざし」の移動と捉えられることになる。つまり、主語“他”に「起点」、目的語“我们”に「着点」という意味役割が付与される。「着点」は“看”が表す関係（「まなざし」の移動）の「自然の終結点」となり、「時相」は充足する。ゆえに、(22a)の“着”は「時態」と解釈することができる。(22b)は(22a)から「まなざし」の記述を取り去ったものである。この文はすわりが悪い。それは「まなざし」の記述がないため、“我们”から「着点」という意味を読みとりにくく、「時相」が充足していないからだと考えられる。この例も「時態」は「充足した時相」と意味上、直接結びつくことを示している。

(22) a. 他狠狠地看着a我们，眼光闪烁不定，充满仇恨。

(彼は憎々しげにわれわれを見ていた。そのまなざしはぎらぎらとして、恨みに満ちていた。)

b. ?他狠狠地看着a我们。

## 2.2 「時態」の時間体系における役割

2.1では「時態」が「充足した時相」と意味上、直接結びつくことを論じた。では、「充足した時相」と結びついた「時態」は時間体系においてどんな役割を果たしているのだろうか。

それを論じるためには現代中国語の「時制」についての言及が不可欠である。そこで現代中国語の「時制」を簡単に説明しよう。Reichenbach (1974)の時制理論を適用すると、現代中国語の「時制」は「発話時間 (speech time)」, 「参照時間 (reference time)」および「出来事時間 (event time)」の三つの時間によって表すことができる。「発話時間」, 「参照時間」, 「出来事時間」をそれぞれ, ST, RT, ETとしよう。「時制」はこの三つの時間の時間軸における相対的位置関係によって決定される。その時間軸上の位置関係は「ET—RT—ST」のような「時制構造」によって示される<sup>註2)</sup>。正確に言えば、このような「時制構造」によって表される「時制」は文の「時制」であ

る。よって、ST, RT, ET の三つの時間は文中の表現から対応づけられるはずである。ST は文が発話される時点を指示するので、文そのものが ST の存在を保証している。RT は ST 以外の基準となる時点を指示するので、特定の時点を表す表現に対応する。たとえば、中国語では“昨天(昨日)”, “昨天(明日)”のような時間副詞や“在…的时候(…のとき)”のような前置詞句などの表現が特定の時点を表す。ET は「出来事」が発生した時間を表すので、文中で「充足した時相」を構成する表現に対応する。この「時制」の時間範疇を考慮に入れて、「時態」の役割を述べる。

次の(23a)と(23b)を比較されたい。(23a)(23b)において、下線部“抽+三根烟”は「充足した時相」であり、「三本のたばこを吸う」という「出来事」を表している。よって、それは「時制」においてETとなることができる。また、両者には特定の時間を指示する波線部“昨天”があり、それは「時制」においてRTとなるものである。両者の違いは「時態」“了a”の有無による文の成立状況である。つまり、この比較から、「充足した時相」によって表される「出来事」(“抽+三根烟”)を「時制」におけるETとするために、「時態」“了a”が何らかの役割を果たしている、ということが言える。

(23) a. 老李昨天抽了a三根烟。

(李さんは昨日三本のたばこを吸った。)

b. \*老李昨天抽三根烟。

私は、「時態」の役割は「時相」と「時制」を結びつけることである、と主張したい。さらに例を挙げこの主張を裏付けよう。

次の(24a)で波線部“上个月我赶到她家时(先月私が彼女の家へ駆けつけたとき)”は「時制」におけるRTを指示する。動詞“改良”は内部に「自然の終結点」を持つので、単独で「充足した時相」を構成し、「出来事」を表す。“改良”は単独で「時相」を充足しているので、その直後の“了”は「時態」“了a”で、意味上“改良”に直接結びついている。つまり、(24a)において

「出来事」は「時態」“了a”によってマークされている。一方，“了a”を取り去った(24b)において，“改良”が表す「出来事」は「時態」によってマークされず，文は不成立である。この例からも「時相」と「時制」をかかわらせるには「時態」の仲介が必要であることが見て取れる。

- (24) a. 上个月我赶到她家时，她家的水稻种子改良了a好几个月了。  
 (先月私が彼女の家に駆けつけたときには，彼女の家のイネの種は改良されて数ヶ月にもなっていた。)
- b. \* 上个月我赶到她家时，她家的水稻种子改良好几个月。

“过a”でも同様のことが見て取れる。次の(25a)において，波線部“插队的时候(生産隊にいたとき)”が特定の時点を表し，「時制」のRTに相当する。「時相」は“喂+两年牛”で充足し，「二，三年間の牛の世話」という「出来事」を表している。(25a)において，この「出来事」は“过a”によってマークされ「過去に経験した出来事」を表している。そしてそれは「時制」のRTとなる“插队的时候”と無理なく結びついて，文は成立している。これに対し，“喂+两年牛”で「充足した時相」が“过a”によってマークされていない(25b)では，「時制」のRTとなる“插队的时候”と結びつくことができない。「時態」“过a”の「時相」と「時制」を結びつけるという役割が見て取れる。

- (25) a. 我插队的时候喂过a两年牛。  
 (私が生産隊にいたとき，二，三年間牛の世話をしたことがある。)
- b. \* 我插队的时候喂两年牛。

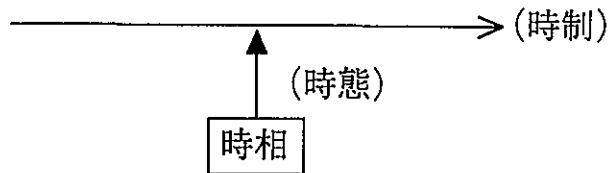
“过a”の例をもうひとつ見てみよう。次の(26a)において，波線部“自从前次“合作”以后(前回「協力」してから)”はRT指示する。「出来事」は“见+好几趟”によって表されている。すなわち，“见(会う)”の動作量が“好

几趟（何度も）”によって限定され、「充足した時相」を構成している。“见+好几趟”で「時相」が充足しているのので，“见”の直後の“过”は「時態」である。それは“见+好几趟”と意味上直接結びついて、「何度も会った」という「過去の出来事の発生」を述べている。(26a)の文が成立しているのは，“过<sup>a</sup>”によってマークされた“见”が表す「出来事」は「時制」においてRTを指示する“自从前次“合作”以后”と無理なく結びつく、すなわち「時制」のETとなる、ということを示している。これに対し、(26b)は“过<sup>a</sup>”によってマークされていない「出来事」が「時制」のETとはなれない、ということを表している。この例からも「時相」は「時態」を介して「時制」とかかわることが見て取れる。

- (26) a. 自从前次“合作”以后，一个多月来，这两个人虽然在应酬场中见过<sup>a</sup>好几趟…。
- （前回「協力」してから，この一ヶ月あまりの間，このふたりはパーティー会場で何度も顔を会わせていたが…）
- b. \* 自从前次“合作”以后，一个多月来，这两个人虽然在应酬场中见好几趟…。

以上の数例から、「時相」を「時制」と結びつけるという、時間体系における「時態」の役割が明らかになった<sup>注3)</sup>。これにより、現代中国語の時間体系は次のようなモデルによって図示することができる。このモデルにおいて、左から右に向かう矢印は時間軸を表している。「時制」はこの時間軸上におけるST, RT, ETの相対的位置関係によってきまるので、この矢印は「時制」の時間範疇に属している。四角で囲まれた「時相」は「充足した時相」を表している。そこから時間軸に向かって上にのびた矢印は「時態」の時間範疇を表しており、「時相」の時間範疇と「時制」の時間範疇を結びつけている。

## (27) 現代中国語の時間体系のモデル



## 3. おわりに

本稿は現代中国語の時間体系における「時相」と「時態」というふたつの時間範疇の役割について論じた。

「時相」という時間範疇では、「充足した時相」と「未充足の時相」が区別される。とりわけ前者は「出来事」を表し、「時態」とのかかわりにおいて重要である。この「出来事」を表す「充足した時相」はVR構造、「動詞＋各種の量表現」、単独の動詞など様々な統語的手段によって構成される。

「時態」に関しては、まず“了a”“过a”“着a”を取り上げ、それらは意味上、その直前にある動詞が表す動作行為と直接結びつくのではなく、「充足した時相」と直接結びつくことを論じた。次に、「時態」という時間範疇が現代中国語の時間体系の中で、「時相」と「時制」を結びつける役割を果たしていることを明らかにし、時間体系のモデルを示した。「時態」の役割を述べる箇所において、本稿ではわずかな言及にとどまったが、現代中国語の時間体系の把握には「時制」という時間範疇の理解が重要であることが示されている。よって「時制」についてはさらに詳しく追求する必要がある。

## 注釈

1. 「時相」に現れる“了p”“过p”“着p”の意味および例は次の通りである。

・“了p”…「動作行為のおわり」(…しおわる)

(1-1) 我每天吃了p早点就上班。

(私は毎日朝食をすませてから出勤します。)

・“过p”…「動作行為のおわり」(…しおわる)

(1-2) 这本书我看过p了, 再给你。

(この本は私が読み終えたらあなたにあげます。)

・“着p”…「動作行為そのものの持続」(…している)

(1-3) 黄耀祖就在我前面走着p, 时而对着山谷呼叫, 时而又胡乱地拍腿, 挥动手臂, 仿佛很快活似的。

(黄耀祖は私の前を歩きながら, ときには山あいにもかってかけ声をかけたり, またときにはやたらに太ももをたたき両手を振っていて, 楽しそうだ。)

2. 厳密に言えば, 「時制構造」はSTを基準にした「絶対時制」とRTを基準にした「相対時制」を合わせて構成される。「絶対時制」はETがSTの前にある「過去」, STと同時にある「現在」, STの後にある「未来」の三つの位置関係を表す。一方, 「相対時制」はETがRTの前にある「已然」, RTと同時にある「単純」, RTの後にある「未然」の三つの位置関係を表す。ちなみに「ET—RT—ST」の「時制構造」を持つ文の「時制」は「過去已然」である。

3. “着a”に関しては, “了a”や“过a”ほど「時態」の役割を積極的に示さなかったもので, 注釈において, 説明する。よって, “着a”の役割については, 今後さらなる検討が必要である。

次の文では“有一个时候(あるとき)”が「時制」におけるRTを指示する。また, “看+我们+眼光闪烁不定, 充满仇恨”によって「時相」が充足し, 「ざらざらとして, 憎しみに満ちたまなざしを向ける」という「出来事」を表している。本文(13)の例で述べたように, “看”の直後の“着”は「時態」の“着a”である。よって, “看+我们+眼光闪烁不定, 充满仇恨”が表す「出来事」は“着a”によって「時制」と結びついていると言える。

(3-1) 有一个时候, 他狠狠地看着a我们, 眼光闪烁不定, 充满仇恨。

(あるとき, 彼は憎々しげにわれわれを見ていた。そのまなざしはざらざらとしていて, 恨みに満ちていた。)

ただし, 上の例から「時態」の“着a”を取り去っても文は成立する。この場合, “看+我们+眼光闪烁不定, 充满仇恨”は「出来事」ではなく, 「われわれに向けられたまなざしが恨みに満ちている」という「外見上の特徴」を述べている。



- (3-2) 有一个时候，他狠狠地看我们，眼光闪烁不定，充满仇恨。  
 (あるとき、彼は憎々しげにわれわれを見ていた。そのまなざしはぎらぎらとしていて、恨みに満ちていた。)

### 参考文献

- 陈平. 1988年. 论现代汉语时间系统的三元结构. 《中国语文》 第六期. pp. 401-422
- 龚千炎. 1991年. 谈现代汉语的时制表示和时态表达系统. 《中国语文》 第四期. pp. 251-261
- 龚千炎. 1995年. 《汉语的时相时制时态》. 北京商务印书馆
- 孔令达. 1988年. 关于动态助词“过1”与“过2”. 《中国语文》 第四期. pp. 272-276
- 李临定. 1990年. 《现代汉语动词》. 北京: 中国社会科学出版社
- 李铁根. 1999年. 《现代汉语时制研究》. 沈阳: 辽宁大学出版社
- 马庆株. 1992年. 《汉语动词和动词性结构》. 北京: 北京语言学院出版社
- Parsons, Terence. 1990. *Events in the Semantics of English: A Study in Subatomic Semantics*. Cambridge, Massachusetts: MIT Press
- Reichenbach, H. 著, 石本新訳. 1982年. 『記号論理学の原理』. 東京: 大修館書店 (*Elements of Symbolic Logic*. 1947. New York: Free Press)
- 白井賢一郎. 1985年. 『形式意味論入門』. 東京: 産業図書
- Vendler, Zeno. 1967. *Linguistics in Philosophy*. Ithaca, New York: Cornell University Press
- ヤーホントフ, C.E. 著, 橋本萬太郎訳. 1987年. 『中国語動詞の研究』. 東京: 白帝社
- 朱德熙. 1982年. 《语法讲义》. 北京: 商务印书馆